

【取組の目的】 豊かな自然や歴史・文化など、地域資源を活かしたまちの新たな魅力づくりと発信に努め、観光交流客を増やします。

『 取 組 』 に 係 る 社 会 の 動 向 と 本 市 の 現 状									
1 社会の動向									
◎ 平成25年6月23日に富士山の世界遺産登録が決定し、今後さらに、登山者や富士山周辺への観光客の大幅な増加が予想される。また、これを機に、外国人観光客の訪日増も期待されることから、旅行会社は新たな観光ツアーを企画するなど世界遺産特需への取り組みを進めている。									
◎ 航空運賃が安価となったことや新興国の一人当たり国民所得が急増していることに加え、最近の円安傾向も相まって、外国人観光客の訪日が急増する中、これまでの大都市を中心とした観光ルートだけでなく、地方の観光地にも外国人が訪れる傾向にあり、地方経済復活の切り札として観光が期待されている。									
◎ 団体旅行が減少し、家族旅行や友人とのグループ旅行など観光の個人化が進んでおり、これに伴い、高速道路網の充実と利便性の向上などにより、クルマ旅行が主流となっている。このような中、昨年開通した新東名高速道路のように、サービスエリアやパーキングエリアが観光集客施設として位置づけられるなど、地域資源を活用することによりニーズに合わせた新たな発想の観光企画も見られるなど、観光市場が縮小する中、観光地間の競争は、ますます激しくなっている。									
2 本市の現状（主な取組）									
◎ 主要観光施設である遠州三山（法多山・可睡斎・油山寺）をクローズアップした観光キャンペーン「遠州三山 自分巡礼の旅」を平成24年6月から12月にかけて実施し、電車の中吊りポスターの掲示や大都市での商談会や雑誌等へのセールス、無料シャトルバスの運行などを行った結果、このキャンペーンをきっかけに県外から訪れた方も多く、誘客促進に繋がった。今後は、訪れた人が再来し、リピーターとなり、ファンとなってもらえるような取り組みが重要である。									
◎ 袋井市観光協会への活動支援として、B級グルメスタジアム in エコパ実行委員会への補助金支援をはじめ、北九州市で行われた第7回B－1グランプリや関東・東海B－1グランプリへ「袋井宿たまごふわふわ」を出展する際の市職員派遣を行った。また、袋井市観光案内所における市と協会の連携体制は、観光客の満足度を高めるとともに、「ふくろい観光ルネッサンス事業」など観光地域が一体となった魅力的な観光施策の展開に繋がっている。									
◎ 全国屈指の花火大会となっている「ふくろい遠州の花火」へは、安全対策や市民花火推進の観点で事業費補助を行うとともに人的支援を行っており、認知度も高いことから、本市を全国発信するためのツールとともに、経済効果や地域活性化の効果をもたらすイベントとなっている。									
◎ 担い手の充実と育成の取り組みについては、健康文化担い手育成事業として、市民を対象に「健康文化観光講座」、事業者を対象に「おもてなしセミナー」を実施した。									
『 取 組 指 標 』 の 分 析 と 評 価 結 果									
1 取組指標の評価 【※ 実績値は、各年度末における最新数値】									
評価結果の平均値（A）									
2.0									
<評価基準> 4：達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 3：達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 < 0% 2：達成率 < 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 1：達成率 < 100%・前年比伸び率 < 0%									
番 号	指 標 名	項 目	現状値(計画)	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1	観光交流客数【万人】	目 標 値	－	454	454	462	470	478	486
		実 績 値	407	446	427	445			
		達成率 伸び率	－ －	98.2 9.5	94.0 ▲ 4.2	96.3 4.2			
		評 価	－	2	1	2			
2	観光案内所来場者数【人】	目 標 値	－	3,710	3,710	3,750	3,790	3,830	3,900
		実 績 値	3,632	4,121	3,260	3,496			
		達成率 伸び率	－ －	111.0 13.4	87.8 ▲ 20.8	93.2 7.2			
		評 価	－	4	1	2			
3		目 標 値	－						
		実 績 値							
		達成率 伸び率	－ －						
		評 価	－						
4		目 標 値	－						
		実 績 値							
		達成率 伸び率	－ －						
		評 価	－						
【指標に影響を与えた主な要因】									
◎ 観光交流客数：“遠州三山 自分巡礼の旅”をはじめとした「ふくろい観光ルネッサンス事業」の取り組みにより増加となった。									
◎ 観光案内所来場者数：電車の中吊りポスターの掲載など、積極的なPRキャンペーンにより増加となった。									
2 指標で表すことが困難な成果									
◎ 集客性の高いふくろい遠州の花火やエコパを会場としたイベントは、市の知名度を高める効果があるとともに、会場周辺の商業施設での販売促進に繋がっている。									
◎ 三日坊さんの旅など、地域資源を活用した観光振興を進めることで、市民が自分のまちに誇りをもち、人の交流を通して、地元の魅力を再発見するなどの相乗効果も期待される。									

『 主 要 事 業 』 に 係 る 事 業 評 価 表 の 評 価 結 果					
1 主要事業の評価					
番号	主 要 事 業 名	H24 事業費 【千円】	事業評価表の評価結果		
			有 効 性	効 率 性	廃 止 の 影 響
4.	極めて有効	4.	極めて効率的	4.	極めて影響あり
3.	有効	3.	効率的	3.	影響あり
2.	一部有効でない	2.	一部効率的でない	2.	どちらでもない
1.	有効でない	1.	効率的でない	1.	なし又は代替手法あり
1	観光関係印刷物作成事業	936	4	3	4
2	観光広告掲載事業	318	3	3	4
3	観光団体活動支援事業	7,566	4	4	4
4	ふくろい遠州の花火補助事業	9,010	4	3	4
5	ふくろい観光ルネッサンス事業	4,503	4	4	4
6	観光案内所運営事業	2,315	4	4	4
7	観光施設管理事業	3,405	4	3	4
8	地域振興イベント事業 （ふれあい夢市場）（再掲）	2,993	3	3	3
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
評価結果の平均値（B）		3.7	3.8	3.4	3.9

『 取 組 』 の 有 効 性 ・ 必 要 性 ・ 緊 急 性 の 評 価 結 果								
1 取組の有効性等の評価		評価結果の平均値（C）		3.3				
番 号	評 価 項 目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	コ メ ン ト 欄
1	有 効 性 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	4	3	4				◎ 袋井市観光協会と連携し「遠州三山 自分巡礼の旅」キャンペーンを県内外で展開。旅行会社においても数多くのツアーが企画されたこともあり、県内外からの観光客が増加した。既存資源を有効に活用し効果を生み出している。 ◎ 「ふくろい遠州の花火」は、県外からも多くの集客効果があり「袋井」の名を全国に発信するイベントとなっているとともに、物販も含め地域経済への波及効果も大きい。また、花火大会の運営には、地元産業界を中心として、市民が一丸となって取り組んでいることは、企業や市民の誇りとなっている。
2	必 要 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	3	4	4				◎ 地方経済復活の切り札として観光が期待されていることから、地域の観光資源を最大限活用し、リピーターとファンづくりを推進する必要がある。 ◎ “まちの活力”を生み出す源は、にぎわいであり、多くの人が訪れるまちをつくっていく観光政策は、本市の発展には欠かせないものである。また、現在進めている観光イベントは、そのほとんどが地域の企業や市民が携わり実施していることから、地域の力を結集しまちづくりを進める体制の基礎的役割を担っていると言える。
3	緊 急 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	3	3	2				◎ 観光市場が縮小し、観光地間の競争は、ますます激しくなっている中、新東名高速道路の開通や富士山世界遺産登録の決定などにより、袋井市の魅力をさらに広域に発信できる機会が増えたため、今まで以上に、まちの魅力の発信や他との差別化を図ることが求められている。 ◎ 雇用環境が悪化している状況下において、ふくろいの観光を活性化させることは雇用の創出に繋がることでもあり、産業構造の転換期にある今、新たな雇用の受け皿としての観光振興を考える必要がある。
『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向								
1 総合評価	＜評価基準＞ 4 ～ 3.6：順調 3.5 ～ 3：概ね順調 2.9 ～ 2：一部に改善を要する 1.9 ～ 1：全体的に改善を要する							
取 組 の 評 価		コ メ ン ト 欄						
3.0	概ね順調	◎ 「ふくろい遠州の花火」は、全国有数の花火であり「袋井」の名を全国に発信するとともに、袋井市への交流人口の獲得に効果がある。また、市内における物販や宿泊も含め、地域経済への波及効果も大きい。 ◎ 袋井市観光協会等と連携し、「遠州三山 自分巡礼の旅」キャンペーンを県内外で積極的に展開し、旅行会社においても数多くのツアーが企画されたこともあり、県内外からの観光客が増加した。既存資源を有効に活用し効果を生み出している。 ◎ 観光市場が縮小し、観光地間の競争は、ますます激しくなっている中、新東名高速道路の開通や富士山世界遺産登録の決定などにより、袋井市の魅力をさらに広域に発信できる機会が増えたとも言える。チャンスと捉え、今まで以上に、まちの魅力の発信や他との差別化を図ることが求められている。「袋井市観光基本計画」に基づき、地域の観光資源を最大限活用し、リピーターとファンづくりを積極的に推進する必要がある。						
各評価結果の平均値								
取組指標の 評価結果（A）	主要事業の 評価結果（B）	有効性等の 評価結果（C）						
2.0	3.7	3.3						

2 取組の基本方針別 今後の展開方向		＜展開方向＞ 拡充（順調） 拡充（改善必要） 継続推進 縮小							
番 号	取 組 の 基 本 方 針	H22	H23	H24	H25	H26	H27	今 後 の 展 開 方 向	
1	多彩な観光商品の開発	継続推進	拡充	拡充				既存の観光資源に物語性を付け加えるなど、新しい発想で神社仏閣、エコパなど、今ある資源や埋もれている資源を掘り起こし磨き上げていくとともに、海外・県外からの観光客の視点で広域観光の取り組みを進める。また、田園風景などの農資源などを活かした観光や工場見学と連携した産業観光など、他分野との連携で新たな観光商品を開発する。	
2	イベントの有効活用	拡充	継続推進	継続推進				集客性の高い「ふくろい遠州の花火」や「B級グルメグランプリ」などのエコパを会場としたイベントを活用し、市の知名度を高める取り組みを実施するとともに、イベントを機に市の観光の魅力を知ってもらい、リピーターになってもらえるような取り組みを進める。	
3	おもてなしの充実	継続推進	継続推進	継続推進				観光交流客数を増やすため、来訪者が安心して市内を周遊し滞在することができるよう、観光施設の整備・メンテナンスや、おもてなし体制の充実を図っている。また、リピーターやファンとなってもらうためマーケティングの分析を行い、施策に反映する。さらに、まちの玄関口であるJR袋井駅の改築により、来訪者の利便性を向上させる。	
4	戦略的な商品販売の支援	拡充	拡充	継続推進				海外や県外に向け、地域特産品と観光資源等を結びつけたシティープロモーションを実施するとともに、魅力的な特産品開発を支援する。また、「袋井おみやげ開発プロジェクト」で生まれた新たなおみやげ商品が、平成26年4月から販売開始となることから、観光戦略と連携を図り活用していく。	
5									
6									

【その他留意事項】